

情報連絡員報告を中心とした

## 県内の中小企業動向

### 10月

#### ■漬物製造 【県下全域】

スーパー、土産物各方面とも販売数量、金額において低下。

#### ■シャツ製造 【千葉県・東京都】

色々な問題はあると思うが、かなり日本生産に戻ってきている。しかし、工場は減っている。

#### ■製材 【県下全域】

景況感はいまのままの状態。業界の動きとしては、商社の在庫調整による相場高の傾向が見える。

#### ■製材 【木更津】

ロシア材等、輸出国から原木のままの輸出から、加工品として輸出する動きがある。

#### ■印刷 【県下全域】

10月の売上高は9月と比較し、各社プラス・マイナスまちまち。基調は円高、株安、民間給与の大幅減少等を受けて改善せず、顧客の低価格指向により依然デフレの影響を大変強く受けている。

#### ■生コン製造 【県下全域】

上期を底に下期は具体的に物件が少しずつ見えてきた。

#### ■電気鍍金 【千葉】

組合員事業所全体の前月比・前年同月比共悪化している。

#### ■鉄工業 【千葉】

10月に実施した事業所動向調査によると「景況感」「受注・販売」等が半年前の調査同様、さらに好転しているとの結果が示された。また、最近の急激な円高については、

大半は「影響なし」・「影響度合判然としない」との回答で、現段階では円高影響軽微と受け止めているが、収益減を挙げている企業もあり、今後の受注減等を懸念しつつ、動向注視している。

#### ■機械部品製造 【野田】

深刻な状況が続いている。建設、機械加工、ライン製作関係は、需要が少なく特に厳しい。

#### ■機械部品製造 【流山】

業種により、まちまち。安定した発注が続かない模様。

#### ■採石業 【県下全域】

京浜3港のハブ化を目指す一つである横浜港南本牧コンテナ埠頭増設工事や東京都の最終処分場造成工事や築地市場の移転に伴う土手の供給に期待をかけている。

#### ■総合卸売 【千葉県・東京都】

中国漁船衝突事件の影響により、通関手続きが遅れ気味。年末商戦

に向け、在庫確保の心配がある。春の低温・日照不足、夏の猛暑の影響により米の品質が低下。需要減少で21年産米も消化できていない中で、販売量確保が難しい。

#### ■食肉卸売 【千葉市他】

輸入肉の増加で国産物の在庫が増えている。輸入肉増加、飼料価格の高止まり、販売価格の減少等により、離農する農家が見られる。

#### ■建築材料卸売 【県下全域】

全体的に低迷し、回復のメドなし。金融緩和支援策により倒産こそ少ないが、危険水域づく。

#### ■自動車解体業 【県内全域】

スクラップインセンティブ制度9月終了で、在庫の入庫が減少。

#### ■小売 【柏】

下旬に入り、気温が下がったが、秋物商品を売る間がなかった。来街者数が減少しており、特に休日が減っている。

#### ■電気機器小売 【県下全域】

家電エコポイントの影響で売上は順調。12月からのエコポイント半減により、11月は忙しくなりそう。ただ商品が不足がちで心配。

#### ■青果小売 【千葉市】

高値(相場)安定という状況の中、資金繰りが大変な状況。納品業務

を主にしている組合員は、財務的に厳しい状況。店頭売り組合員は高値のため利益が薄く厳しい。

#### ■小売 【大網白里町】

ポイントサービスなどをうまく活用した堅実消費が定着。たばこ値上の反動が一部の店舗に影響。

#### ■小売 【東金】

前半は、秋らしさが無くファッション関係は苦戦。後半は、急に寒くなり冬物準備の購買行動が始まった。食品関係は、農作物が不作で価格が上昇し、今一だった。

#### ■小売 【野田】

売上高が前年同月比で下回った。土日の落ち込みが大きき要因。

#### ■農業機械販売整備 【県下全域】

秋用農機の新品売上が落ち込み、気象条件が良すぎて重整備も減少し、その対応に苦慮している。

#### ■印鑑小売 【県下全域】

先月と比べ、円高の影響かさらなる景気後退の兆しが見え始めた。

#### ■小売・サービス 【銚子】

天候不順により、客足がにぶくなり売上も落ちている。

猛暑く直ぐ寒さ・雨と天候不十分で10月に入って、蜂の受注が止まってしまった。

#### ■遊覧船 【鴨川】

天気が悪かったせいか、いつもの10月より悪かった。

#### ■一般廃棄物処理 【千葉市】

前月に比べると、景況は良かったものの、前年と比べるとあまり変化はないように思う。

#### ■学習塾 【県下全域】

恒例の公立高校学校説明会を実施。45校が参加。生徒や父母約1400人が参加、成功裏に終了。

#### ■土木建築サービス 【県下全域】

公共事業の厳しき変わらず。業界の動きについて、5年ごとに行われる交通量調査が発注された。

#### ■ソフトウェア 【県下全域】

商談自体は多少増えてきているものの、なかなか成約には至らないようである。

#### ■建設業 【県下全域】

受注価格は、国交省や県の指導により、安定してきている。ダンピング防止効果が現れている模様。